



URAの将来と産業サイドの役割

－URAサポートフォーラム（仮称）の設立に向けて

第4回URAシンポジウム第6回RA研究会／URAシンポジウムセッション

2014年9月17日（水）／北海道大学 学術交流会館

序論：

URAサポートフォーラム（仮称）とはなにか

▶ 目的：

1. 現在、育成・定着に向けた取り組みが進むURA*に対し、産業サイドから支援する
2. 1.を通して、URAという重要な制度の定着と発展に寄与する
3. 1.2.を通して、URAと関係産業の互助・互恵的な関係を構築する

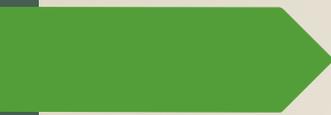
▶ 構成：

- ▶ URAにさまざまな角度から「縁」を持ちうる事業者・団体で構成（予定）

▶ 現構成者：

- ▶ アカデミック・リソース・ガイド株式会社（事務局担当）
- ▶ 株式会社ジー・サーチ
- ▶ 株式会社リクルートテクノロジーズ

本日以降、随時募集を開始



序論：

URAサポートフォーラム（仮称）とはなにか

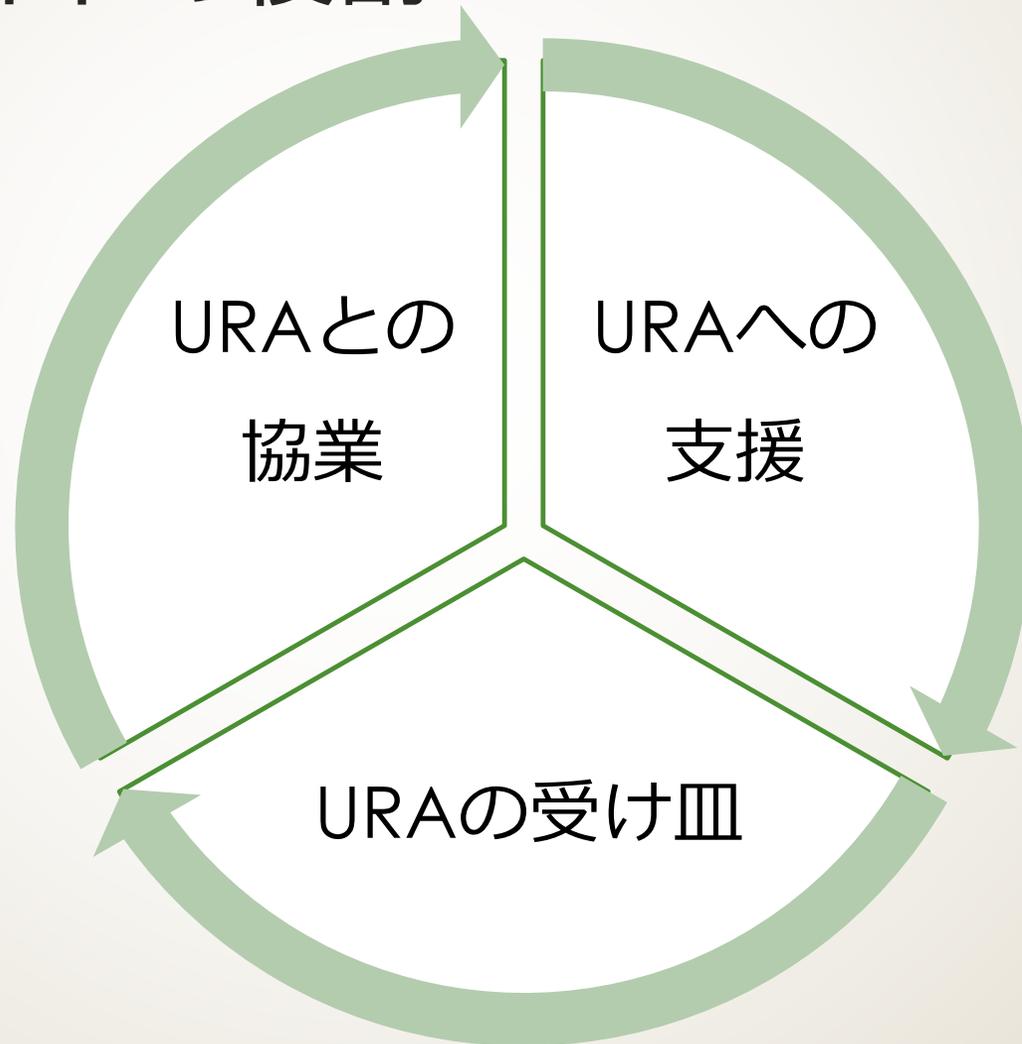
■ 事業：

1. URAをエンパワーするための各種講座・セミナーの開催（年4回）
2. URAのアドボカシーを推進するための公開シンポジウムの開催（年1回）
3. URAからの事業相談への対応（関係企業の紹介等）（随時）
4. 賛助会員からのURAとのコミュニケーションの相談対応（随時）
5. 上記以外のURAの定着・促進に資する一切の事業

■ 経緯：

- 2014年4～6月：企画検討（文部科学省への相談等）
- 2014年7～9月：発足準備

本論： 産業サイドの役割





本論：
産業サイドに対するURAの本音



登壇者紹介：
杉山岳文（株式会社ジー・サーチ）



登壇者紹介：
櫻井一貴（株式会社リクルートテクノロジーズ）





URAの将来と産業サイドの役割

－URAサポートフォーラム（仮称）の設立に向けて

第4回URAシンポジウム第6回RA研究会／URAシンポジウムセッション

2014年9月17日（水）／北海道大学 学術交流会館